

第3章 全体目標

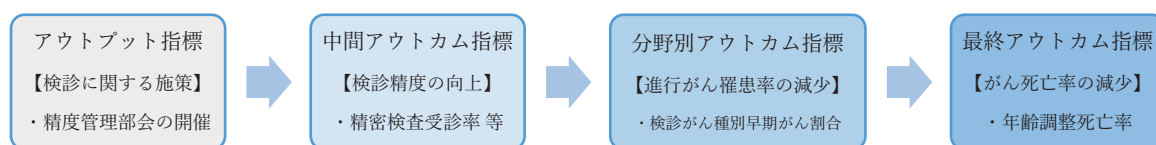
1 目標の設定

がん対策を実効あるものとして、より一層推進していくためには、市町村、保健・医療等の関係者や関係団体等の理解の下、共通の目標を設定することが有効です。そこで、分野別施策を総合的かつ計画的に推進することにより達成を目指す「全体目標」を設定します。また、施策の評価に当たっては、全体目標、分野別目標及び個別目標と各施策の関連性を明確にし、PDCAサイクルの実効性を確保するため、ロジックモデルを活用します。

ロジックモデル

・・・目標とする成果と、目標達成のために必要な施策と成果の関係を図で表したものです。図で表すことで、目標と施策の関連性が明確になり、施策を客観的に評価することができます。

(例)



2 全体目標

がん患者を含めた全ての県民ががんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もが、いつ、どこに居ても、様々ながんの病態に応じた、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って、暮らしていくことができるがん対策を推進すること、さらに、こうしたがん対策を全ての県民とともに進めていくことが重要であるという考えのもと、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す」を全体目標とします。また、全体目標の下に、「がん予防」、「がん医療」及び「がんと共生」の分野別目標を定め、これらの3本の柱に沿った総合的ながん対策を推進します。

【全体目標】

「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す」

【分野別目標】

がん予防：「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」

がん医療：「患者本位で持続可能ながん医療の提供」

がんと共生：「がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」

【最終アウトカム】

No.	評価指標	現状	目標値 令和 11(2029)年度
1	がんの年齢調整死亡率 (75歳未満)	63.0(67.4) (出典:R4 人口動態統計)	53.3
2	がん種別年齢調整死亡率 (75歳未満)	胃がん : 4.8(6.2) 肺がん : 11.7(11.9) 大腸がん : 9.6(9.7) 乳がん : 9.2(10.4) 子宮頸がん : 5.5(5.1) (出典:R4 人口動態統計)	胃がん : 3.0 肺がん : 10.4 大腸がん : 6.7 乳がん : 9.0 子宮頸がん : 4.5
3	がんの年齢調整罹患率	373.8(387.4) (出典:大分県がん登録 2019 年)	335.7
4	がん種別年齢調整罹患率	胃がん : 35.1(41.6) 肺がん : 41.6(42.4) 大腸がん : 51.0(58.2) 乳がん : 91.0(100.5) 子宮頸がん : 14.9(13.9) (出典:大分県がん登録 2019 年)	胃がん : 29.5 肺がん : 35.2 大腸がん : 41.6 乳がん : 62.2 子宮頸がん : 12.6
5	がん種別 5 年生存率	胃がん : 67.0% 肺がん : 43.2% 大腸がん : 71.1% 乳がん : 94.6% 子宮頸がん : 77.5% (出典:全国がん罹患モニタリング 2011 年生存率)	増加
6	現在自分らしい日常生活を送 れていると感じるがん患者の 割合	70.8% (70.1%) (出典:H30 年度患者体験調査)	増加かつ全国平均以 上

※ () 内は全国値